



2026年度



2026(R. 8). 5. 18.
明王台シャローム幼稚園



地域の子育て応援！！ ～
未就園児と保護者の方を対象として～

ふちぱるレター 5月号 (Vol. 1)

～ 生き物に触れる 命を感じる ～

だんだんと春らしい気候になり、体を動かすとじわじわと汗ばむ日も増えました。園庭では、駆け回る子ども達の楽しそうな声が聞こえ、うずくまっている子どもたちは草や陰に隠れたダンゴ虫を発見したり、いもむしを見つけたりと自然に触れ合う様子があります。子どもたちは日々の環境の中で、触ってはいけない虫の種類や危険な理由も遊んでいるうちに覚え学んでいきます。

さて今回のふちっこぱるこでは、移動動物園さんが園に来てくださり、たくさんの動物との触れ合いや餌やり体験の企画でしたので、生き物とのふれあいや幼児期の体験の大切さについて触れたいと思います。

●生き物との関わり

生き物といってもいろいろな種類があります。私たち人間、動物、虫などみんな大切な命をもっています。ご家庭によっては大切な家族としてのペットがいらっしゃる方もありますが、ペットを飼っていないくても、虫であれば必ずそこかしこにいて出くわします。私たちの生活の中には、必ず人間以外の“生き物”がいて、好き嫌いは別として、全く“生き物”と関わらない、ということはありません。だからこそ、子どもたちにとっても、良い刺激であり、友達であり、学びの教材になります。

子ども達は自分の周りに存在する生き物に興味津々です。触ってどんな感触なのかを確かめたり、近くで匂いを感じたり、どのくらいの力加減で触れるのが良いかなども学んでいきます。自分より小さい生き物にはそーっと触れたり、大きい生き物には少し驚きながらも優しく触ったりしている様子があります。

動物と関わることは、自分以外の生き物への興味・関心や他者への思いやりに繋がります。また、言葉を持たない生き物との関わりでは相手が喜んでいいのか怒っているのか、どんなことを思っているのか想像しながら関わることも必要です。触りたいからといって無理に触ると人間と同様に動物も嫌な気持ちを感じますね。それは人間も動物も同じです。こうして徐々に相手との距離なども学んでいきます。

●自然と触れ合う中で学ぶ算数

自然がいっぱいなシャローム幼稚園には、その時期によってたくさんの虫が園庭に遊びに来てくれています。カラーコーンの下や雑草を抜いて現れたダンゴムシを掴まえたり、これから夏になるとカマキリやバッタが出てきたり、遊びの中でたくさんの生き物に触れています。当たり前ですが、子どもによって反応は様々で、どんな虫でも好奇心から触って捕まえようとする子、触りたいけど少し勇気が出なくてそばで見つめる子、動くものとにかく反射してつぶしにかかる子、などなど。その一つ一つの行動の中で、**どんな小さな虫でも命があるということ、自然の摂理の中で生き物も切磋琢磨して命をつないでいるということを知っていきます。小さな虫たちも“命”を教えてくれる貴重な存在なのです。**

小石に小枝にダンゴムシ！子どもたちが大好きでついつい集めたくなるものは、子どもの手のひらにすっぽりと収まるサイズのものが多いです。この手のひらに集めて“たくさん”の感覚を味わい、大切なものとして、また自分だけの特別として、そっと“ポケット”に保管する。幼稚園では毎年のように見られる光景ですが、保

護者の方から、「ポケットにダンゴムシを入れてるの知らなくて、ズボンを洗濯したら洗濯機からたくさん出てきて叫びました〜！」なんてお話があるのも、幼稚園あるあるです。ですが、最近はダンゴムシをポケットに入れる姿が減ったように感じます。

この子どもたちの行為(探す、見つける、集める)の中で、知らず知らずのうちに様々な算数に出会います。「大きい・小さい」「多い・少ない」「長い・短い」等といった比較ですが、大人の「たくさん集めたね。」「この子(虫)が一番大きいね。」等の言葉かけによって、生活の中で算数の力を育てています。何事もですが、やはり一番大切なのは身近な大人の関わりです。せっかくの体験も大人のこういった言葉かけがないと、子どもたちはこの比較の感覚を身につけられません。そして、いくらたくさん昆虫の種類を知って言えようと、いくらたくさん数を集められようと、その“物”や“生き物”に対する優しさや労わりの心、命の宿りを大人が伝えてあげないと、心動かす体験・感情がなく、ただの知的財産だけで終わってしまいます。

● やっぱり感じたい体温のぬくもり

皆さまもご存じのように、動物には癒し効果やアニマルセラピー(動物介在療法)としての活躍もあります。物を言えない動物たちは私たちに聞きたくない言葉をあびせることはありませんし、言葉で反抗もしません。ただ、こちらの心の開き方次第で寄ってきてくれ、体を寄せてくれ、温かみを感じさせてくれます。きっと、この“あたたかい”“何も言わず寄り添ってくれる”感覚と行為に、私たちは癒されるのだらうと思います。

園では、保護者参観のときによく“親子遊び(ふれあい遊び)”を行います。お家の方と手をつなぐ、抱っこをしてもらう等、体温を感じる遊びを入れていますが、この時の子どもたちの表情は格別です。体温の温かさを感じ、心をリラックスさせる。心がリラックスすることで、人に対して優しくなれる。何歳になっても人は誰かの支えを感じたいものです。動物たちから癒し効果をもらうこともいいですが、それ以前に子どもたちには、大好きだよ！のサインとして、身近な信頼できる大人たちからの温度を感じられるコミュニケーションを受け、“自分は大切な存在”だと感じ、心穏やかに育ててほしいと思います。

今月の絵本『だっこ だっこ だーいすき』
かみじょう ゆみこ ぶん / 100%ORANGE え
福音館書店 定価990円(税込)



ちいさなおさるさんが、おとうさん→おねえちゃん→おにいちゃん…と、一人ずつにだっこをせがみにいきます。だっこをせがみにいく様もかわいらしいのですが、それぞれとのだっこの仕方が違い、関係性が伺えます。読み終わると、親子でだっこの温かさを確認したくなる絵本です。

次回ぶちっこぱるのご案内

● 7月22日(水)10:00～
“なりきりごっこあそび”

～逃げる「パンケーキ」を追いかけて

サーキットに挑戦！～

● 9月4日(金)10:30～
“英語であそぼう”

～ロバート先生と英語遊び！～

毎月お誕生日のお祝いがございます！



《 お問い合わせ 》 “愛” みんなにいつまでも “LOVE” for You All, Forever
学校法人のぞみ学園
明王台シャローム幼稚園〔幼稚園型認定こども園〕(住所:福山市明王台1丁目2-7)
TEL : 084-951-6006

